



平成30年 3月 29日

各位

会社名 株式会社 大真空
代表者名 代表取締役社長 長谷川 宗平
(コード番号 6962 東証第1部)
問合せ先 常務取締役 管理本部長 前田 宏
TEL: (079)426-3211

**業績予想の修正および退職給付信託設定益(特別利益)
ならびに製品補償費用(特別損失)の計上に関するお知らせ**

最近の業績動向を踏まえ、平成29年5月12日に公表した平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)の修正、および平成30年3月期連結累計期間(平成29年4月1日～平成30年3月31日)における退職給付信託設定益(特別利益)の計上ならびに製品補償費用(特別損失)の計上について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

1)平成30年3月期通期 連結業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	34,000	1,440	1,440	740	91.63
今回発表予想(B)	30,200	150	20	△ 430	△ 53.25
増減額(B-A)	△ 3,800	△ 1,290	△ 1,420	△ 1,170	
増減率(%)	△ 11.2	△ 89.6	△ 98.6	-	
(ご参考) 前期実績 (平成29年3月期)	30,959	1,395	1,551	695	86.13

2)修正の理由

当連結累計期間の業績及び最近の為替動向を踏まえ、平成30年3月期の連結業績予想数値を上記のとおり修正いたします。当社グループを取り巻く状況は下期以降、想定以上に厳しいものとなりました。特に年明け以降、為替が円高に振れるとともに、主力市場の1つである通信機器市場における水晶デバイスの小型化進展の遅れや、中国スマホにおける生産調整の影響なども加わり売上高は低調に推移いたしました。利益面におきましても、想定に比べ売上高が減少したことや設備稼働率の低下などの影響により前回公表予想を下回る見込みとなりました。また、下記2.のとおり退職給付信託設定に伴う特別利益や、下記3. のとおり補償費用の発生に伴う特別損失の計上が見込まれるなど、平成29年5月12日に公表した平成30年3月期の連結業績予想を修正いたします。

※上記の業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる可能性があります。

2.退職給付信託設定に伴う特別利益の計上について

当社は、平成30年3月23日に公表いたしました「退職給付信託設定に関するお知らせ」につきまして、退職給付信託設定額及び退職給付信託設定益が確定しましたのでお知らせいたします。また、平成30年3月期決算において、退職給付信託設定益として特別利益に計上する予定です。

1. 退職給付信託設定日 平成30年3月28日
2. 退職給付信託設定額 313百万円
3. 退職給付信託設定益 248百万円

3.補償費用の発生に伴う特別損失の計上について

当社が販売した製品不具合を起因とした補償費用の発生に伴い、平成30年3月期連結累計期間(平成29年4月1日～平成30年3月31日)において、製品補償費用として特別損失230百万円を計上する予定です。

以上